

# 学校施設における 公共施設マネジメントの推進について

令和7年3月19日（水）令和6年度第3回総合教育会議

公共施設マネジメント課



# 本日の流れ

- 1 公共施設マネジメントの全体像
- 2 学校施設の状況
- 3 現在の取組
- 4 今後に向けて

# 1 公共施設マネジメントの全体像

## ①公共施設の種類

### 学校教育施設

小学校、中学校、特別支援学校  
その他教育施設（給食センター、教育相談室）

### 生涯学習施設

公民館、図書館、資料館、  
交流センター、コミュニティセンター、スポーツ施設、集会所、文化会館

### 福祉施設

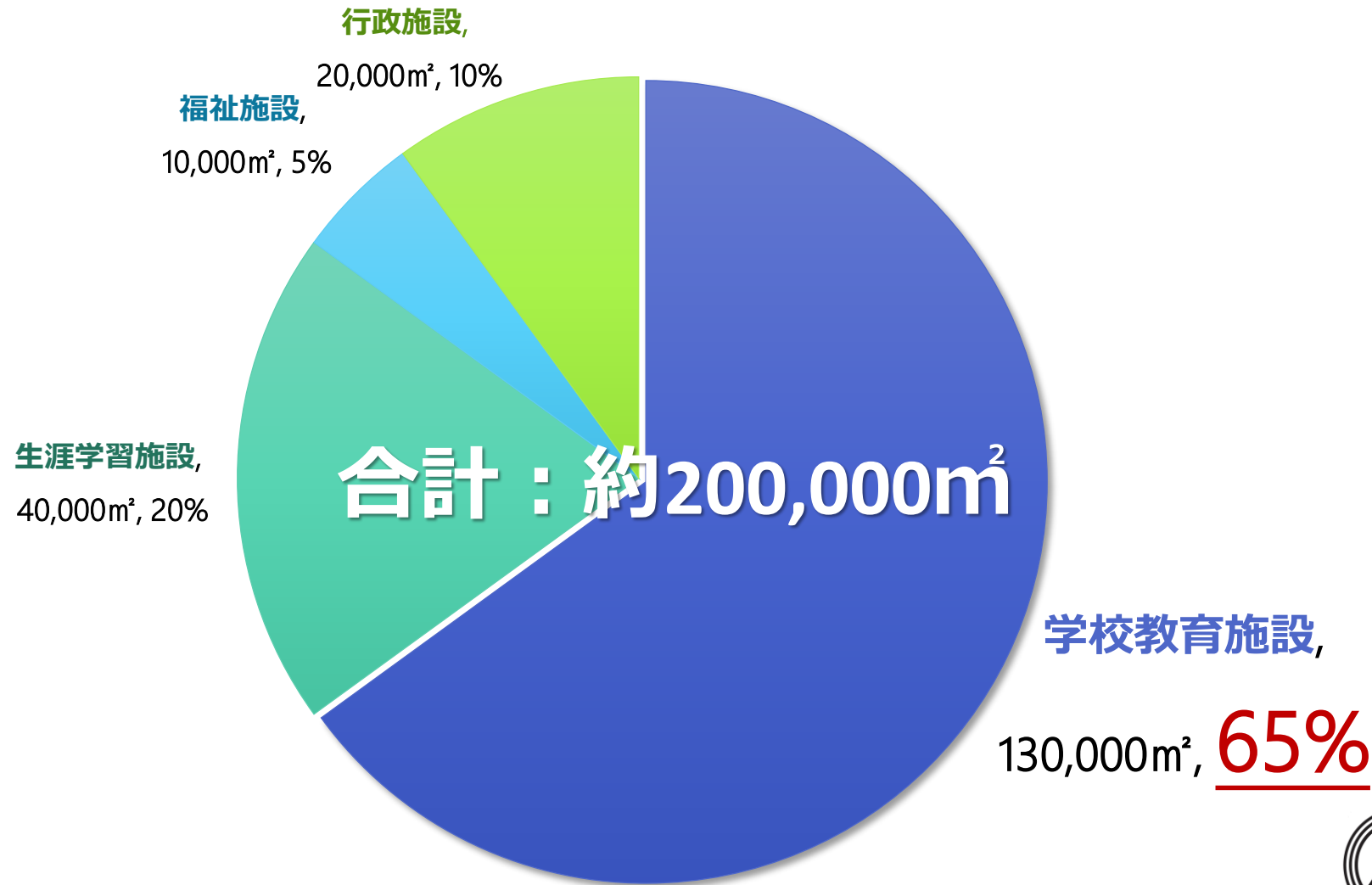
児童福祉施設（保育所、放課後児童クラブ、児童館）  
高齢者福祉施設、その他福祉施設

### 行政施設

庁舎、出張所、防災施設、自転車駐車場、その他施設

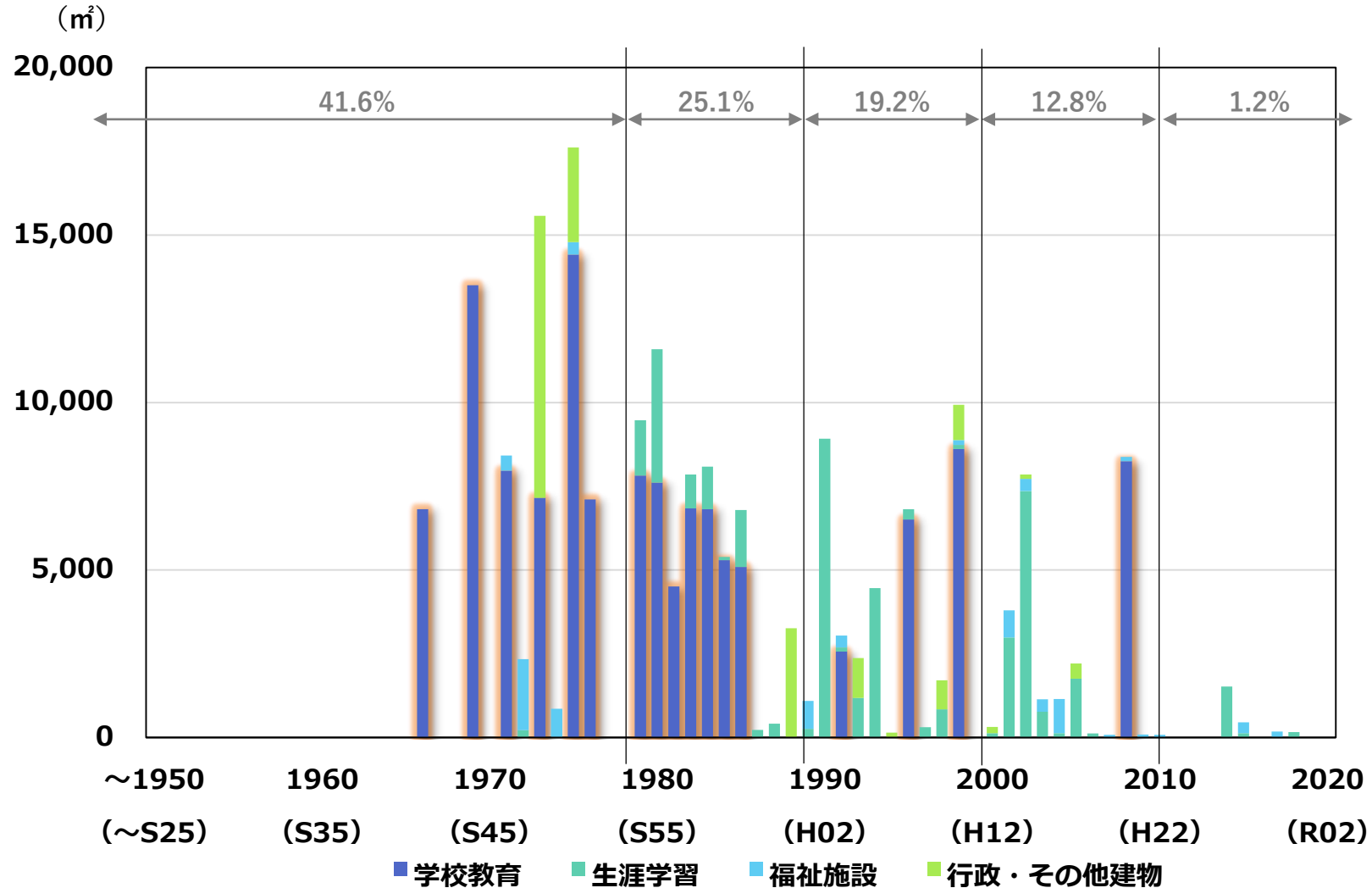
# 1 公共施設マネジメントの全体像

## ②施設類型別の数量



# 1 公共施設マネジメントの全体像

## ③年代別整備状況



みんな笑顔☆ふじみ  
**富士見市**

# 1 公共施設マネジメントの全体像

## ④建物に係る費用

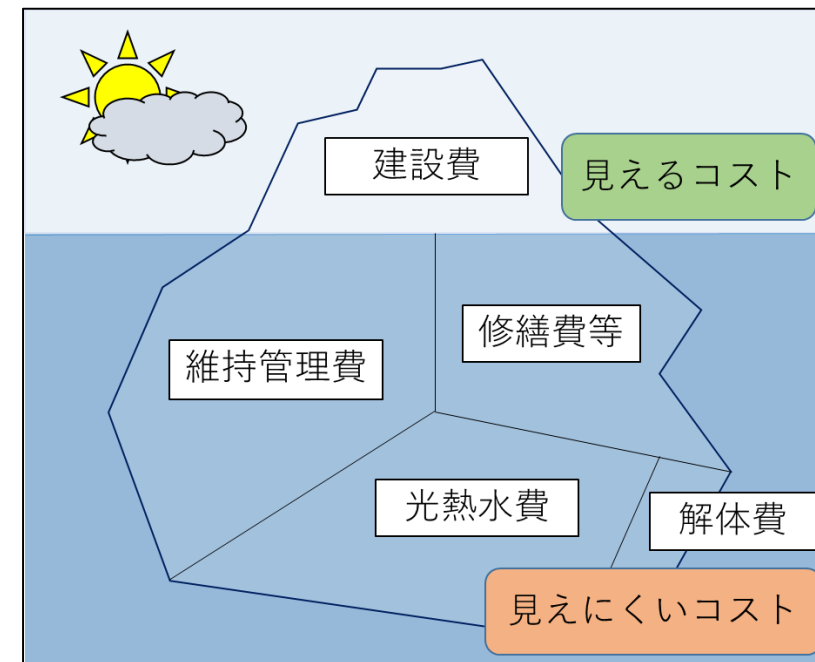
建設費は、ライフサイクルコスト（LCC）の2～3割

※LCC：整備から、改修や修繕を経て解体するまでの費用総額

（例）3億円で施設を整備した場合、施設維持に約7億円が必要

### 【建設費以外に係るコスト例】

・市内4公民館	⇒	維持管理費用	：	毎年	約1億円
・学校屋内運動場	⇒	大規模改修	：	1棟	約3億円
・学校プール	⇒	改修	：	1箇所	約5,000万円
・集会所	⇒	大規模改修	：	1棟	約2,000万円
・エレベーター	⇒	更新（学校）	：	1機	約4,000万円
・市役所	⇒	光熱水費	：	毎年	約3,000万円
・旧ガーデンビーチ	⇒	解体費	：		約2億円



みんな笑顔☆ふじみ

富士見市

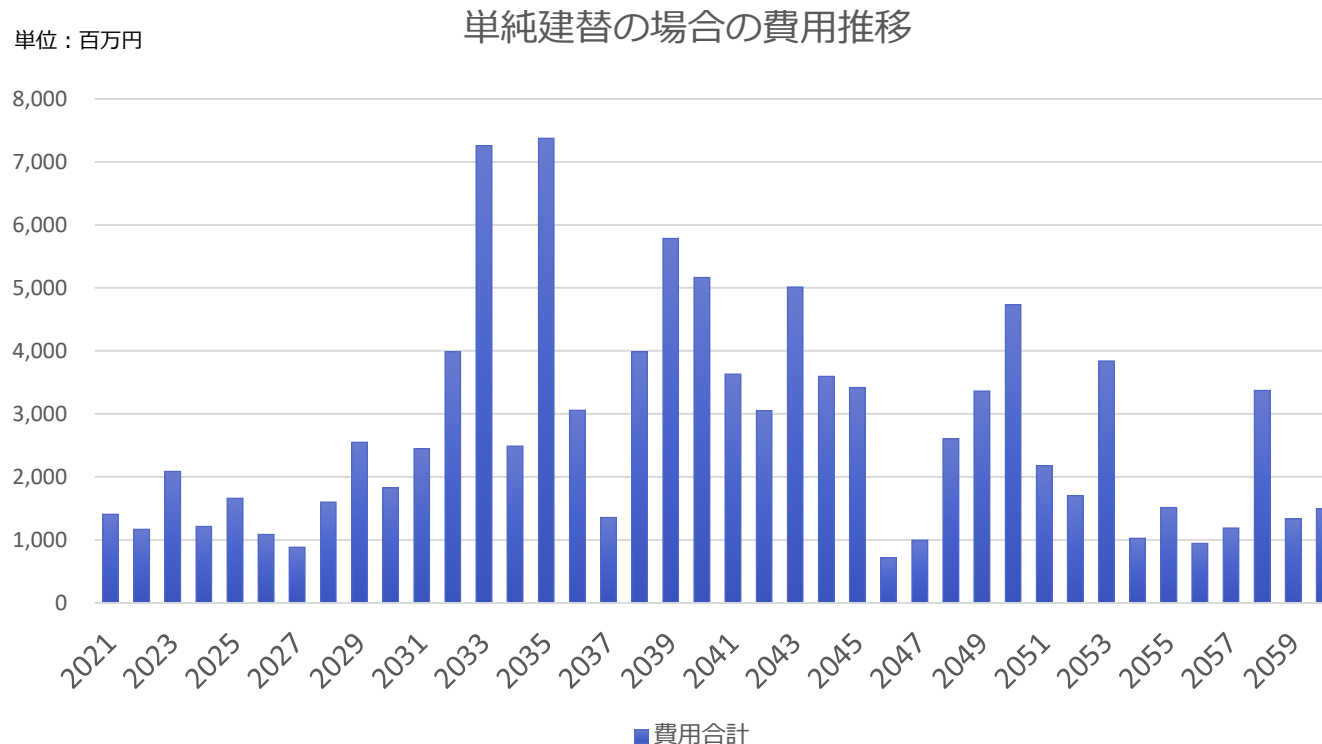
# 1 公共施設マネジメントの全体像

## ⑤更新等費用の見通し

今後40年間に標準使用年数※1で施設を建替えていった場合の費用※2

約 1,080 億円

※1 鉄骨造等60年、木造等40年  
※2 建替、修繕、解体等の費用



- ・負担困難な費用見込み
- ・年度ごとの費用のバラツキ

# 1 公共施設マネジメントの全体像

## ⑥公共施設マネジメントとは

持続可能な施設運営の実現



施設の老朽化

限られた財源

人口減少

社会的要求水準



長く使う（長寿命化） ・ 施設総量の適正化



## 2 学校の状況

### ①学校施設の状況

施設名	建築年度	経過年数	延床面積(m <sup>2</sup> )
鶴瀬小学校	昭和41年	58	6,818
水谷小学校	昭和44年	55	7,283
関沢小学校	昭和44年	55	7,278
勝瀬小学校	昭和46年	53	7,967
本郷中学校	昭和46年	53	6,511
水谷東小学校	昭和48年	51	7,158
諏訪小学校	昭和50年	49	7,992
東中学校	昭和50年	49	6,425
みずほ台小学校	昭和51年	48	7,107
西中学校	昭和54年	45	7,824
勝瀬中学校	昭和55年	44	7,613
南畑小学校	昭和56年	43	4,506
富士見台中学校	昭和57年	42	6,843
水谷中学校	昭和58年	41	6,819
針ヶ谷小学校	昭和59年	40	5,294
富士見特別支援学校	昭和60年	39	5,090
ふじみ野小学校	平成10年	26	8,614
つるせ台小学校	平成20年	16	8,248

建替時期を迎える学校

#### 施設の老朽化

- ・人口急増期に建設した学校の建替ラッシュ

#### 限られた財源

建替対象延べ床面積合計 108,528m<sup>2</sup>

- ・建替費用の平均は 40万円/m<sup>2</sup>※  
⇒ **434億円**以上の費用が必要

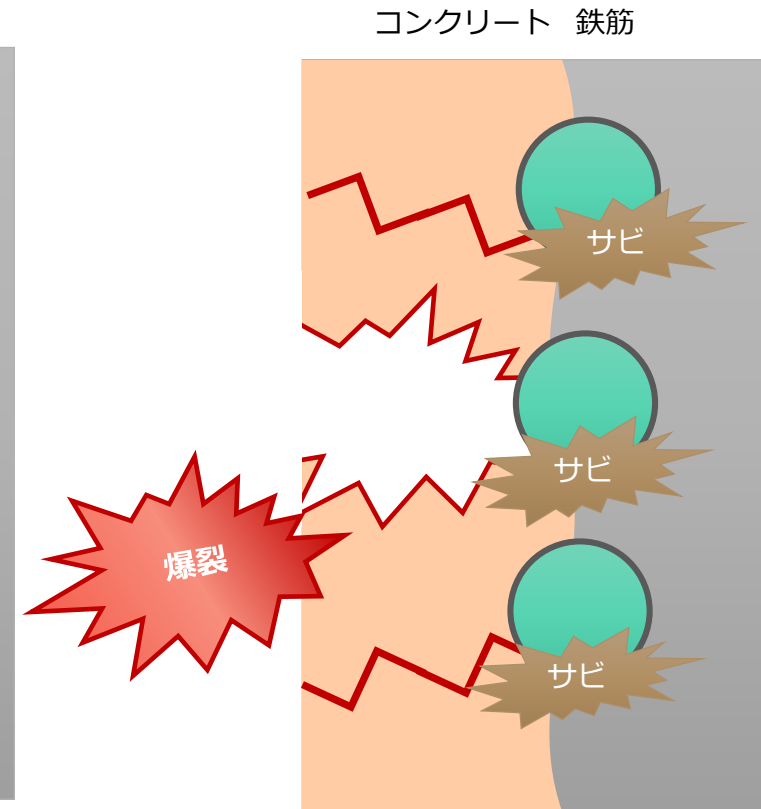
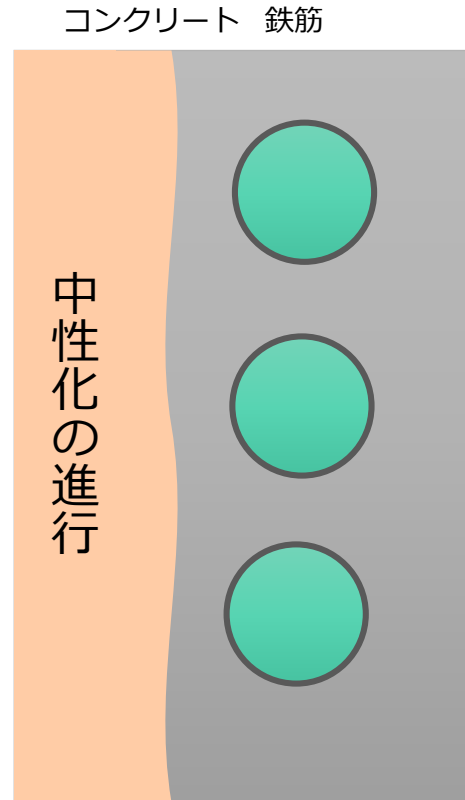
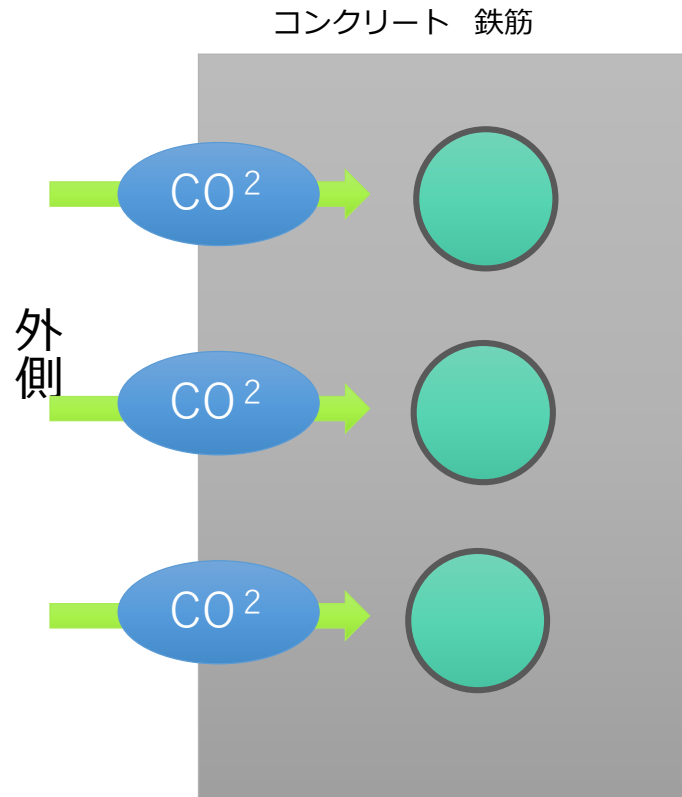
※総合管理方針策定時の単価



みんな笑顔☆ふじみ  
**富士見市**

## 2 学校の状況

### ②学校施設の老朽化



## 2 学校の状況

### ②学校施設の老朽化



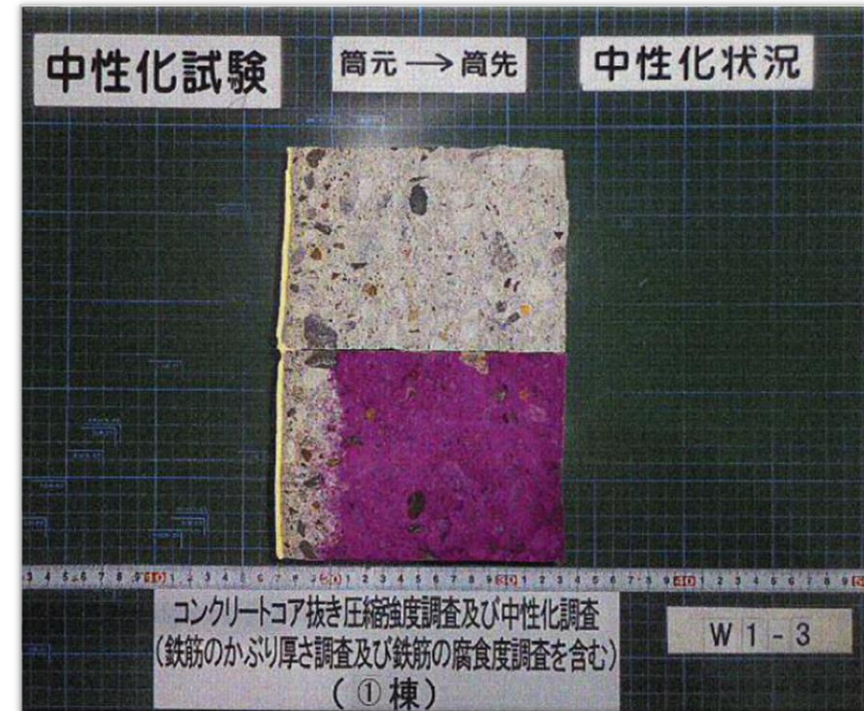
爆裂の跡



サビの流出

## 2 学校の状況

### ②学校施設の老朽化

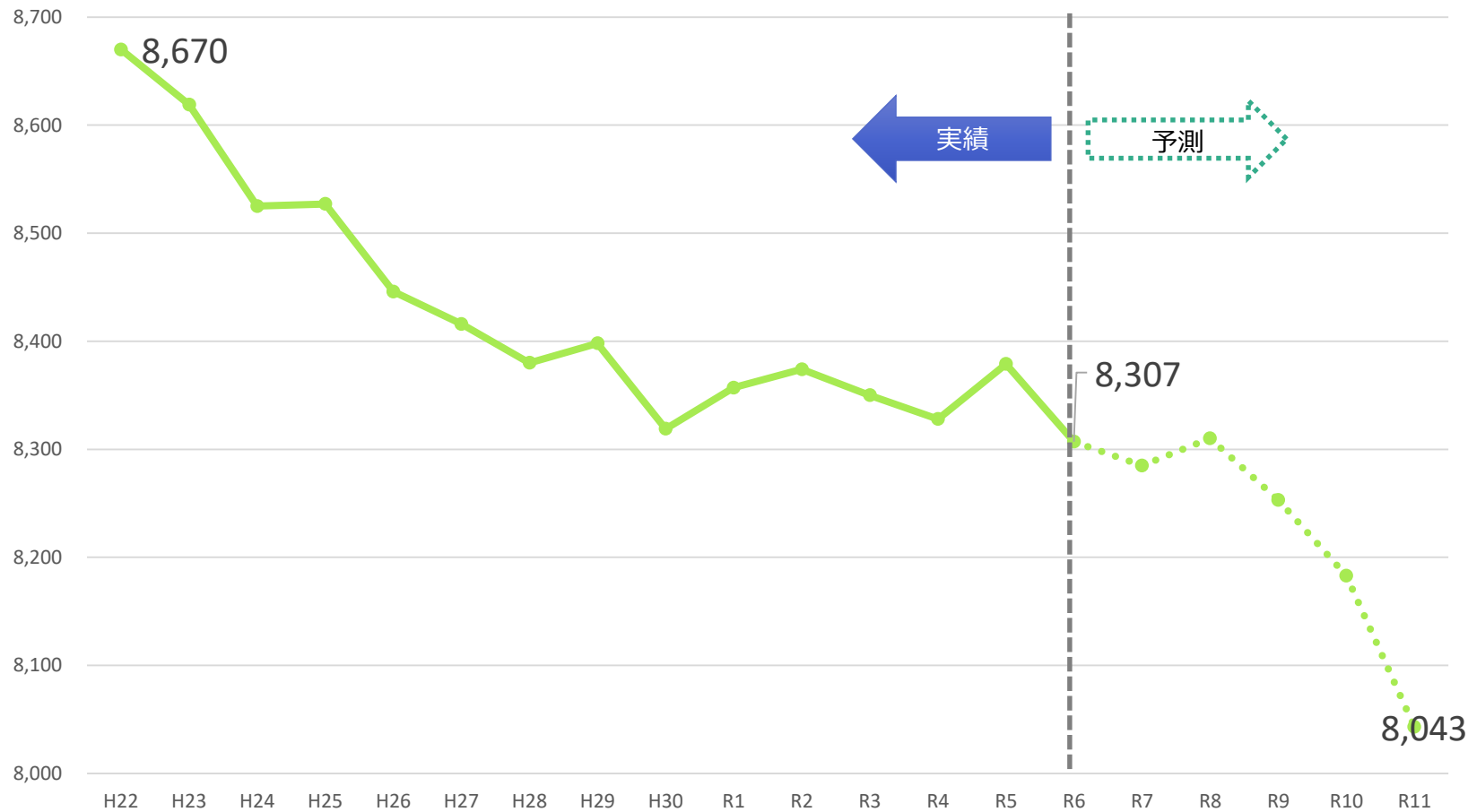


- ・ 水谷小など複数の学校で中性化の進行が想定される。

## 2 学校の状況

### ③児童・生徒の状況

児童・生徒合計数の推計



人口減少

- ・児童生徒数は減少傾向
- ・最大：15,493人 (S57)
- ・将来：約5,500人 (R42)

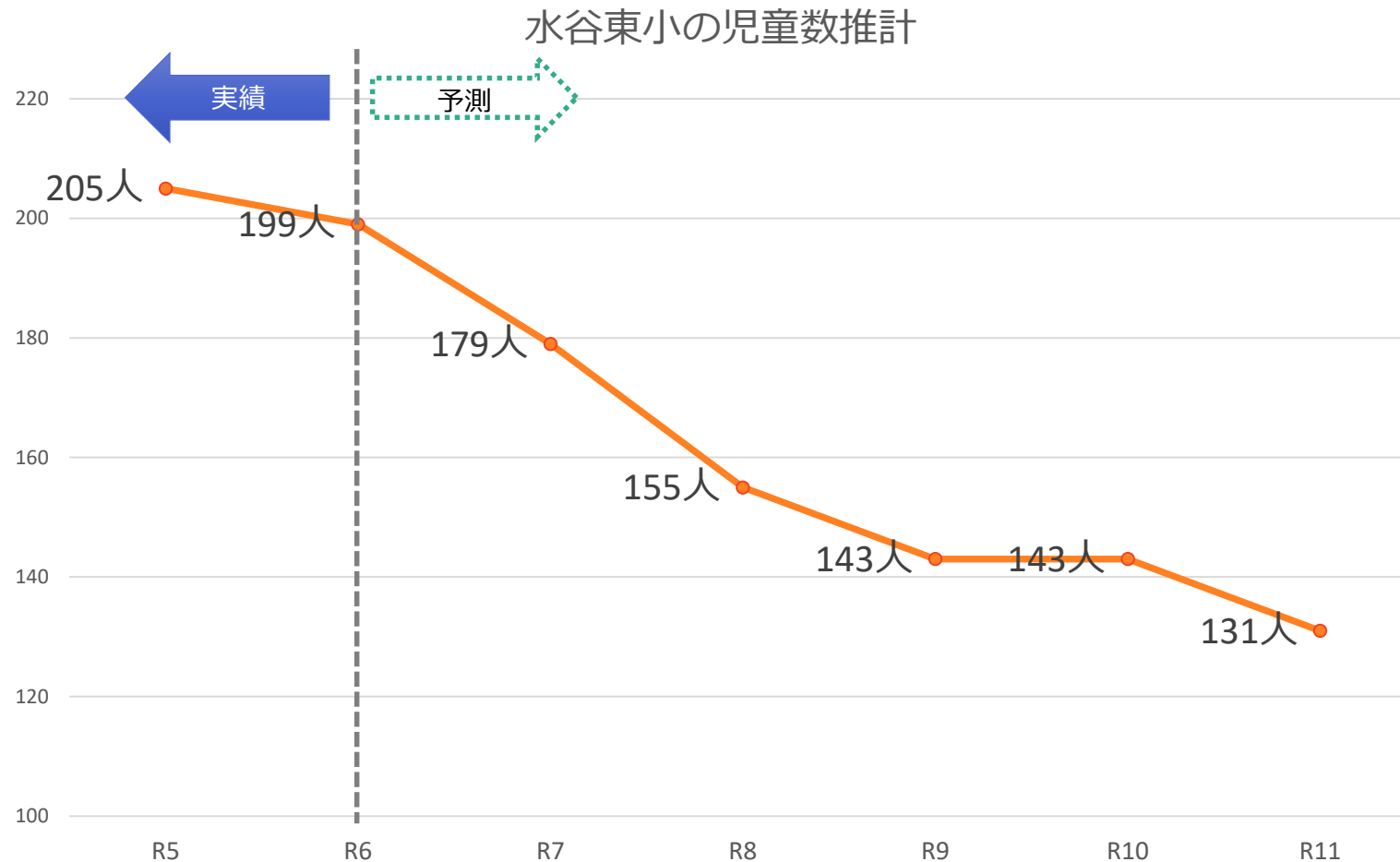


みんな笑顔☆ふじみ  
富士見市



## 2 学校の状況

### ③児童・生徒の状況



人口減少

- ・ R9年度には各学年1クラス
- ・ 1クラス20人以下となる可能性も



みんな笑顔☆ふじみ  
富士見市

## 2 学校の状況

### ④対策

財源見通しでは、8校程度の建替が可能



#### ①長寿命化

勝瀬中、水谷中、みずほ台小、富士見台中

#### ②再 編

学校の統合・建替の検討

# 3 現在の取組

## ①長寿命化改修工事

80年の使用を目指し、40年目の中間年に実施する改修

## 将来に渡って長く利用できる施設にする工事

⇒全面改修（フルリノベーション）

### (1) 建物の耐久性を高める工事

- ア 構造躯体の経年劣化対策
- イ 耐久性の優れた仕上材への更新
- ウ 維持管理や設備更新を容易にする改修
- エ ライフラインの更新

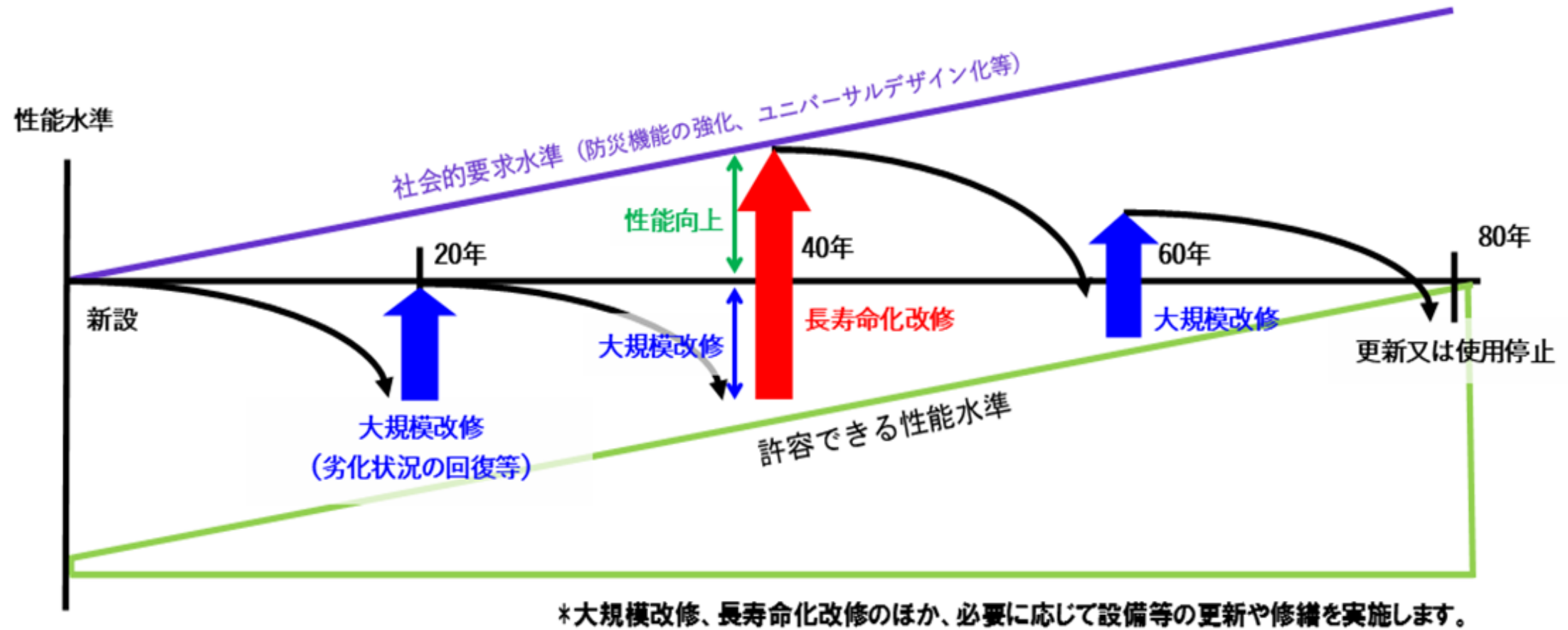
### (2) 建物の性能を向上させる工事

- ア 省エネルギー対策
- イ 柔軟なプランへの改修  
⇒広い用途で使用しやすい施設とする。
- ウ バリアフリー等ユニバーサルデザイン等の採用



# 3 現在の取組

## ②長寿命化のイメージ



# 3 現在の取組

## ③長寿命化のイメージ（勝瀬中学校）



改修前（アリーナ）



改修前（舞台）



# 3 現在の取組

## ③長寿命化のイメージ（勝瀬中学校）



内部の解体



足場組立



# 3 現在の取組

## ③長寿命化のイメージ（勝瀬中学校）



断熱材施工



壁材施工

# 3 現在の取組

## ③長寿命化のイメージ（勝瀬中学校）



改修後（アリーナ）



改修後（舞台）



# 3 現在の取組

## ④再編の課題

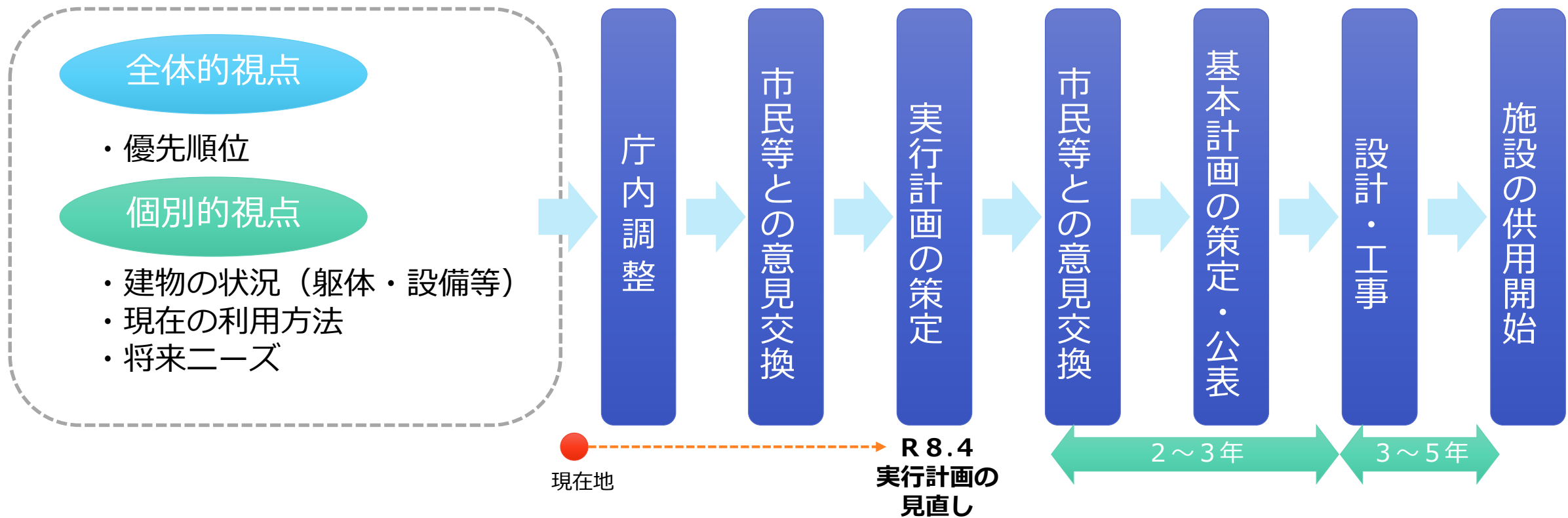


- (1) 施設の老朽化  
⇒ 安全の確保
- (2) 財源の担保  
⇒ 持続可能な行政運営の実現
- (3) 学校教育  
⇒ 適正規模校の確保
- (4) まちづくり  
⇒ 小学校を中心としたまちづくりへの影響

# 3 現在の取組

## ⑤再編の進捗状況

○建替にあたってのプロセス



みんな笑顔☆ふじみ

富士見市

# 3 現在の取組

## ⑥再編実施における課題



画像：水谷小学校（Google Earth）

(1) 居ながら施工が基本

(2) 事業の重なりを回避

← 給食センターの老朽化

(3) 近隣公共施設の再編状況

(4) 地域の理解



みんな笑顔☆ふじみ  
**富士見市**



# 4 今後に向けて

## ①ハード的な質の向上

施設保有量の適正化 × 質の向上 = 「縮充」

### (1) 安全・安心、持続可能な教育環境

耐震強度、情報通信設備、バリアフリー

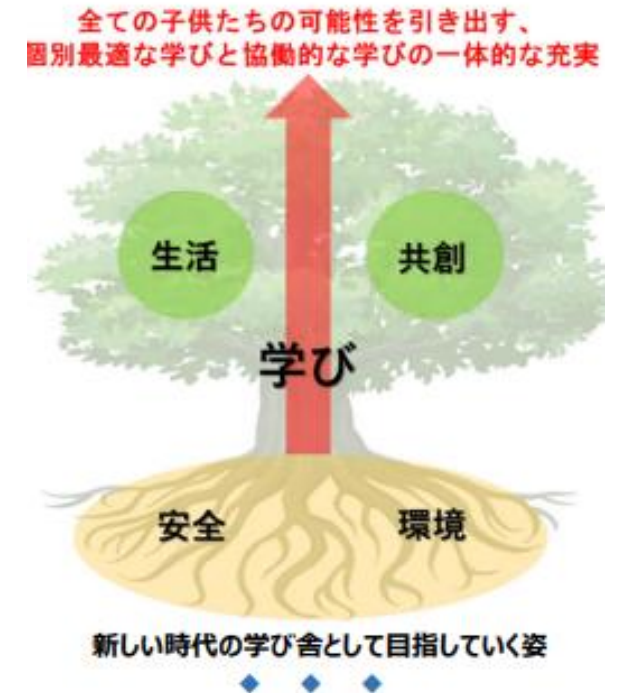
高断熱、高効率照明、太陽光発電、室内への木材利用

### (2) 柔軟で創造的な学習空間

1人1台端末環境等に対応した机の配置

個別学習や少人数学習などに柔軟に対応できる多目的スペース

活動・交流拠点としての地域との共創可能な空間



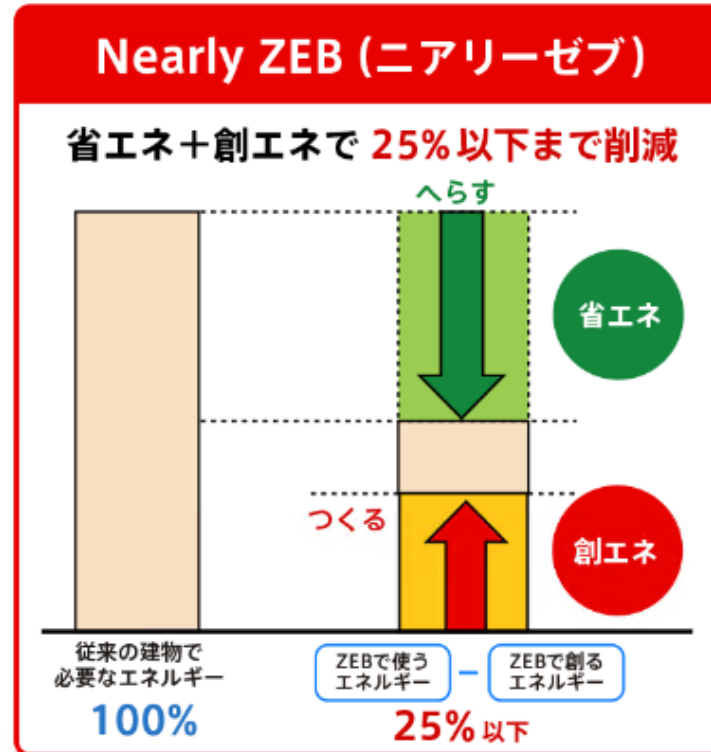
# 4 今後に向けて

## ①ハード的な質の向上「縮充」

(1) 安全・安心、持続可能な教育環境



太陽光パネル（水谷小学校増築校舎）



水谷小学校増築校舎は、エネルギー消費量を77%削減したことから、Nearly ZEBの認証を取得

### 【ZEBとは】

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

新庁舎整備等でもZEB化に取り組むこととしています。

# 4 今後に向けて

## ①ハード的な質の向上 「縮充」

(1) 安全・安心、持続可能な教育環境



学校施設の木造化・木質化（本郷中）



学校施設の木造化・木質化（勝瀬小）



学校施設の木造化・木質化（勝瀬中）



# 4 今後に向けて

## ①ハード的な質の向上 「縮充」

### (2)柔軟で創造的な学習空間



1人1台端末環境等に対応したゆとり  
のある教室の整備



多目的スペースの活用による多様な  
学習活動への柔軟な対応



ロッカースペース等の配置の工夫等  
による教室空間の有効活